

## はじめに

ここに収めたのは、平成20年度製作 DVD 教材「深め発見する喜び ―言語力とメディア活用能力の向上を目指す教師の支援―」の二つの実践の指導案と座談会「教材活用の道しるべ」である。

前者は、2つの実践事例の学習指導案とその展開を支える資料で、昨年度作成した調べ学習基礎編の DVD を視聴した先生方の要望に応じて編集した。1つは、学校法人別府大学 明星小学校 田中 肇 教諭の社会科における調べ学習「大友宗麟」(6年生)である。子どもたちは、当初の発表会で課題をすりあわせ、課題を焦点化して研究計画書を作成した。次に、歴史資料館・遺跡の見学やインターネットで課題を掘り下げ、グループの学習の成果を保護者や級友にプレゼンテーションした。今ひとつは大分県立大分豊府中学校 佐藤由美子教諭のコミュニケーション国語におけるポスターセッション「大分の先哲に学ぶ」(2年生)である。半年に及ぶ息の長い調べ学習である。生徒は調べる先哲を選び、夏休みを利用して先哲の資料館・記念館に調査に赴き、レポートをまとめた。さらに、グループごとにポスターを製作し、伝えたいエピソードを決定し、はじめは級友に、さらに学年全体にポスターセッションを行った。

それぞれの実践過程で、指導者は言語力とメディア活用能力向上のためにどのような指導・支援を試みているのか、DVD とあわせてお読みいただければより具体的にとらえることができる。

支援には板書や学習の手引きによるもの、机間指導時の話し合いに教師も1学習者として参加して暗示・示唆・助言を行う等、さまざまな状況や対応が考えられる。ここでは、印刷資料であり、支援のすべてではないことを予めご理解いただきたい。

2つの実践は手本ではなく、見本として参考にさせていただきたいと思う。

なお、田中肇先生は今回初めて DVD に登場していただいた。児童も同じである。佐藤由美子先生は2年連続だが、生徒は初めてである。

座談会「教材活用の道しるべ 『深め発見する喜び―言語力とメディア活用能力の向上を目指す教師の支援―』」は、京都橘大学教授・元国立国語研究所長 甲斐陸朗先生、千葉県袖ヶ浦市立根方小学校教頭 嶋田道雄先生をお招きして、西村 明別府大学学長と昨年度からの本研究推進委員長佐藤充昭教授・同委員非常勤講師後藤弘子、司会者別府大学短期大学部小沼俊男教授・同文学部国際言語・文化学科松田美香准教授による記録で、会はすべての撮影終了後にもたれた。学校現場でこの DVD が十分にその役割を果たせるよう、また、DVD やこの資料集の補完の意味合いも込めての座談会であり、メディアを活用して学び方を学び、自らのことばを獲得する子どもが育つ「調べ学習」の支援のあり方について協議を重ねた記録である。

DVD と資料集が機能を発揮し、県下の教室で子どもたちの深める喜び、発見する喜びの具現化に役立ち、自らの課題を自ら求めて解決し、自己を確立する子どもが一人またひとりと増えていくことが、本研究に携わった全員の願いである。